

### ■米国：カリフォルニア州の電気料金、山火事対策により高騰する可能性

カリフォルニア州公益事業委員会は2019年5月8日、「電力会社の費用と料金上昇を抑制する方策」と題する報告書を公表した。同報告書によると、同州の電気料金は上昇傾向が続いており、今後も山火事対策の強化により、更なる高騰の可能性はある。州内大手電力会社3社の電気料金について、2012～2019年にかけての年間平均上昇率は、PG&E社およびSCE社が2%、SDG&E社が6%であった。料金引き上げの主な要因は、電力会社の販売電力量が減少しているなか、規制等により所要収入や経費が増加しているためである。加えて、近年カリフォルニア州における山火事の発生リスクが増大しており、公益事業委員会は大手電力会社に対し山火事対策の強化を求めている。同報告書は、こうした対策費の上乗せにより、月額電気料金支払い額が最大7%上昇する可能性があるとしている。